

未来への責任・ひたむきに・真摯に

新たな任期に臨むにあたり

一言、ごあいさつを申し上げます。



今回の選挙はコロナ禍の中、大雨災害対応も行う状況下に行われました。それだけに被災現場確認や対策の指示、コロナワクチン接種の推進と新型コロナウイルス感染症対策、など対応しながらの選挙期間中の活動となりました。

コロナ感染の恐れのない普通の状況なら、お一人おひとりとの出会い、言葉を交わし、親しくいろいろなことを教えていただく機会にもなるのですが、今回はコロナ禍で握手も叶わず、距離を保つなど、活動にも難しさの多いものでした。

それでも「心から応援していただきます」と迎えて下さる真剣なまなざしに深い思いを感じました。かけていただく言葉に改めて感じ入るものもありました。さらには市政への感謝に添えて「こちらこそお願いします」の言葉を幾度もいただきました。

職責の重さを実感する瞬間でありました。

新たな任期に臨み「初心忘れず」を基本とし「寄り添う」「心に響く」行政をめざします。市民の皆さんお一人おひとりの状況や課題に寄り添い、一つひとつの解決を図りたいと考えます。そして、日々の地道な努力を重ねていくことで、市民のみなさんに喜んでいただける市政の実現に努めます。

小都市ですが、多久市での課題の発見や解決策は他自治体でも参考になり、さらには日本の課題解決にも通じるはずで、ここから未来を創る。まさにそのような認識と覚悟で未来創造にチャレンジしていきます。どうぞよろしくお願います。

令和3年9月17日

横尾 俊彦

特集①

横尾 俊彦市長

新たな気持ちで 7期目始動！

任期満了に伴う多久市長選挙が8月29日(日)に告示され、3人が立候補。

8年ぶりとなる選挙が9月5日(日)に実施されました。

市民から引き続き市政を託された横尾市長。7期目となるこれからの抱負と決意を申し上げます。